



柵津御堂ワインだより

NETSU MIDO

VOL.04

発行/2021年11月1日 発行者/御堂地域活用構想推進協議会 会長 別府 英宣
(協議会事務局: 東御市6次産業化推進室 電話: 0268-75-2016)

柵津御堂地区の今についてお知らせします

生産者紹介④

地元のみなさんと一緒に夢を叶えたい

有限会社信州うえだファーム 常務取締役 ふなだ ひさお 船田 寿夫 さん

●信州うえだファームについて、教えてください。

地域の農業を守るため、JA信州うえだの子会社として、平成12年に設立され、農業経営のほか新規就農支援事業も行っています。御堂には2名の新規就農者を入植させ、ファームとしてはシャルドネを2.5ha植えています。

●御堂はどんな場所と捉えていますか？

「二度と御堂を荒廃化させない」ということが、地域の皆さんとの約束であり、我々の使命と考えています。また、新規就農者の収量が想定する収量に達しなかった場合には、ファームの原料を供給をしたりするなど、新規就農者をサポートしていきたいと考えています。

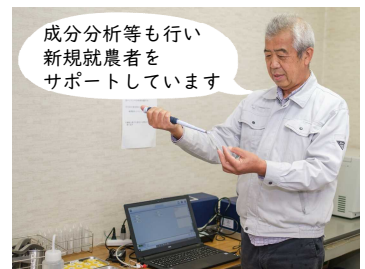
●御堂の将来をどのように描いていますか？

ここには歴史的に貴重な史跡が沢山あります。ブドウ団地が起爆剤となり、多くの方に来ていただき、御堂の歴史や文化に触れていただきたいと思います。また、烏帽子スカイランのような、多くの方々が集まるイベントを通じて、皆さんに御堂のワインを飲んで頂けるような活動していきたいです。

●地元の皆さんへメッセージをお願いします。

御堂ワイン用ぶどう団地は、地元の方々の協力があって完成しました。今後は、地元の方々と一緒に夢を見ていきたいと思っています。まずは、地元の皆さんに御堂ワインを飲んでいただきたい。そのためにも、機械化や効率化を図り、気軽に手に取っていただけるようなワイン作りを目指していきます。

聞き手: 米田直人 (東御市地域おこし協力隊・ワイン&ピアミュージアムコンシェルジュ)



成分分析等も行い
新規就農者を
サポートしています

有限会社信州うえだファーム
住所: 東御市柵津1049-1
電話: 0268-75-5549



◆第4回◆ ボジョレー ヌーボーって何？



ワインに詳しくない、という方でも「ボジョレーヌーボー」という言葉は知っているという方は多いはず。でもどんなワインのかご存じですか？

「ボジョレー」はフランス南部のブルゴーニュに位置する地方の名前。「ヌーボー」は、フランス語で「新しい」という意味で、合わせて「ボジョレー地区の新酒」を意味しており、主にガメイという種類の黒ぶどうを使って、作られます。ワインは長期熟成して楽しむのが通常ですが、ボジョレーヌーボーは、その年のぶどうの出来栄のチェックや、秋の収穫のお祝いをする意味合いで、毎年11月の第3木曜日に新酒の状態です、解禁されます。

フレッシュな果実味が持ち味なので、飲みやすいと感じる人も多いようです。一番輸入しているのは日本といわれていますが、収穫の喜びを味わうという点で、日本人の気質に合っているワインなのではないでしょうか。

大山江利子 (東御市地域おこし協力隊・ワイン&ピアミュージアムコンシェルジュ)